

共同デスク

2018年11月20日発行第25号

とよなかの市民活動・共同デスク実行委員会

(一財)とよなか男女共同参画推進財団
 とよなか市民公益活動協議体らっぴ
 (公財)豊中市スポーツ振興事業団
 (公財)とよなか国際交流協会
 (特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21
 (社福)豊中市社会福祉協議会
 (第25号担当)
 TEL:06-6848-1000 FAX:06-6841-2388



とよなか市民公益活動協議体・らっぴ

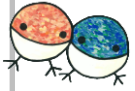
～台風21号による停電被害について～

近畿地方に直撃の予報だった台風当日、市民活動情報サロンは通常どおり朝から開館しましたが、午後2時過ぎの停電により水道やトイレも使えなくなりました。停電は翌日も続いたため臨時休館となり、2日後の午前9時に電気・水道がようやく復旧して開館することができました。豊中駅周辺では長いところでは5日間も停電が続いたため、週末(9/8)に予定していた「市民活動ジャンプフェスタ」は翌週(9/15)に延期となりました。「すてっぴらライブラリーまつり」や「とよなか国際交流フェスタ」と同日開催ができず残念でしたが、9月8日はサロン内で共同デスクの壁新聞を紹介し、また3施設を回る「ESDとよなかクイズラリー」の出題ポイントとしてサロンも参加させていただき、多くの来場者にサロンを知ってもらうことができました。

今回の台風や地震の被害を教訓に、サロンでは災害時の運営や備えについてあらためて考える機会となりました。



共同デスク壁新聞の展示と各施設のパネル紹介



フェイスブックのQRコード

(公財)とよなか国際交流協会

災害時の外国人支援について

この6月に大阪府北部地震、7月に西日本豪雨、9月は台風21号などと連続する災害に、地域に暮らす外国人は大きな戸惑いと恐怖に襲われました。地震当日から協会は市との協定に基づき「災害時多言語支援センター」を設置し、避難所巡回やフェイスブック(QRコード参照)を通じて多言語での情報発信を行った他、市や社会福祉協議会と連携して翻訳作業等を行いました。



外国人のための防災フェアたき出し体験の様子

地震後にはセンターを利用する外国人向けにアンケート調査を行いました。多くの人が「どこで情報を得られるかわからなかった」「避難所の場所がわからなかった」など、情報にアクセスできなかった状況が改めてわかりました。その後、7月には外国人向けの多言語防災セミナー、9月には地域の高校生を対象とした「災害時のボランティア講習会」、10月には市と大阪大学国際公共政策研究科グローバルリスクソリューションズセンターとの共催で「外国人のための防災フェア」を開催しました。これからも積極的な情報発信を試みていきたいと思います。



(一財)とよなか男女共同参画推進財団

大阪府北部地震で考えさせられたすてっぴの災害時対応

1995年の阪神大震災の経験から、避難所生活において我慢を強いられる女性たちの問題が明らかになりました。問題解決には、女性が意見を言うことや決定の場に関わることの重要性が指摘され、その後の東日本大震災や熊本地震においても過去の経験が活かされています。すてっぴでは、「女性と防災」をテーマにした事業に以前から取り組み、2014年度には「とよなか女性防災ノート パートII」を発行し、「女性と防災を考える会」による「女性と防災に関する提言書」の作成に関わり、主催講座も継続的に実施しています。

6月の大阪府北部地震では、すてっぴも施設内に被害が生じました。地震当日は、公共交通機関が停止したことで主催事業を取り止め臨時休館にするなど、すてっぴ開設以来初めての対応に追われました。すてっぴ自身が被災した際の運営について、具体的な対応を検討する必要があります。



すてっぴ情報ライブラリーの棚から落ちて散乱した本

(公財)豊中市スポーツ振興事業団

屋内体育施設での熱中症への取り組み

●熱中症計を設置しました。

今年の夏はとても暑かったですね。豊中市立屋内体育施設もすべての競技場に空調設備の設置はありませんが、安全に利用をしていただくために、今年度熱中症計を購入しました。毎日2時間毎に計測し、利用をされる際の目安にしてください。施設で掲示をしています。



熱中症計の測定の様子

●温水プールにはアルミシートを備蓄しています。

もし、温水プール時に災害などが起きた時に水着だった！という時のために、二ノ切温水プールと豊島温水プールではアルミシートを備蓄し有事の時のために準備をしています。

(社福)豊中市社会福祉協議会

大阪北部地震・台風21号災害における【災害支援ボランティアセンター】

高齢者・障がい者・子育て世帯で自力で家財整理ができない世帯を対象に「災害支援ボランティアセンター」を豊中市すこやかプラザにて開設しました。

大阪北部地震においては、家具の移動・災害ゴミの搬出・家財の片づけなど屋内作業を中心に約200件の依頼に対して約700名のボランティア活動で対応しました。

また、台風21号においては物置やロッカーの移動・解体、飛来物の撤去など約100件の依頼に対してのべ300名を超えるボランティアが活動いただきました。



平常から社協ボランティアセンターと関わりのある方々だけでなく学生・外国人・市内在勤の社会人など新たな出会いがありました。併せて1000人以上の力で支援が必要な市民に支援活動が行われたことに改めて感謝します。

今回の対応を教訓に、「災害支援ボランティアセンター」の体制強化へ活かしていきたいです。



(特活)とよなか市民環境会議アジェンダ21

南桜塚校区地域連絡協議会に参加して

当団体では地域との連携を強化するため、指定管理で運営している環境交流センターがある南桜塚小学校区の地域自治組織「南桜塚校区地域連絡協議会」に参加しています。協議会は防犯と防災が主な活動テーマで、防災に関する見学会や小学生向けの防災教室、校区全体での防災訓練などを行っています。

今年の地震や台風を受けて、地域の被害状況や各自の対応について、今後さらに大きい災害が起こった場合はどうするかなど、協議会で様々な意見が交わられました。共通しているのは、災害時に協議会が直接的な救助者になるのではないということ。いざという時に自ら行動できるように、協議会で日頃から考える機会を設けて、地域のつながりを作っていくという考えです。これは団体や施設の運営にも通じるもので、地域との連携から、団体として施設として災害への考えを深めていきたいと思っています。



見学会での起震車の体験